

田川のみなさんに ありがとうを伝えたい

3月16日、ロシア軍からの攻撃が激化するウクライナから、エカテリーナ・チャプリンシカさんと娘のアナスタシアさんが本市に避難してきました。エカテリーナさんの故郷はウクライナの首都キーウから西へ約150km離れたジトーミルで、爆撃で大きな被害を受けた都市のひとつです。両親や夫を故郷に残して国外へ避難することは断腸の思いでしたが「アナスタシアの未来を守るため」と姉の中島スビツラーナさん（市内在住）に背中を押され、母娘2人での脱出を決意。隣国ポーランドを経由して11日間をかけて日本に辿り着き、姉の自宅に身を寄せました。

避難後に相談を受けた本市は、関係機関と連携して在留や住民登録などの手続き、市営住宅提供などの支援を実施。市民からの支援も相次ぎ、市内いちご農園への就職や併設保育園への入園も決まりました。また、田川市建設協会の支援金100万円贈呈の申し出があり、4月19日に市役所で贈呈式（右写真）が行われました。

エカテリーナさんは「田川のみなさんへの感謝の思いでいっぱいです。働いてしっかりと自立し、娘を守っていきます。恩返しのためにボランティア活動もしたい」とのこと。そして「すべてのウクライナ人は、この戦争を早く終わらせたいと願っています」と語りました。



▲母と一緒に元気な笑顔を見せる娘のアナスタシアさん



▲エカテリーナさんとアナスタシアさんに支援金を手渡す敷地雄介会長（中央）と菅野親平副会長（右）

みなさんの温かい支援を



よろしくお祈いします

本市に避難している人への支援

ウクライナから本市に避難している人への支援の申し出は、経営企画課で受け付けています。

●問い合わせ 市役所4階 経営企画課（☎85-7101）

※避難者の希望とのマッチングを行うため、内容によっては支援を受け付けられない場合があります。

ウクライナ人道危機救援金（日本赤十字社）

ウクライナでの人道危機対応や、ウクライナからの避難民を受け入れる周辺国などでの救助活動を支える救援金です。

【募金箱設置場所】

市役所1階ロビー

※市役所1階 保健福祉課でも受け付けています。

●設置期限 9月30日（金）

※期限を延長する場合があります。



【日本赤十字社へ直接送金】

●受付期限 9月30日（金）

●送金方法 金融機関やクレジットカードなどで送金

※詳しくは同社ホームページをご覧ください。